26

24

25

27

6 Maison Armance

メゾン・アルマンス

24 最上階の6階にあるレセプション。屋根裏の斜めの梁をそのまま生かした設計。奥は朝食のためのスペース。25〜27 女性2人のデザインユニット「ダブル・ジー」が内装を担当。3〜5階に全20室。空の色の濃淡を表現したアイスブルーやグレーが基調。クローゼットやミニバーもコンパクトに壁内に収める。カンボン通り沿いの部屋の窓から、遠くにサクレクール寺院が見える。

5 rue Cambon 75001 ☎01-42-60-38-89 1泊€250〜 チュイルリー公園のすぐそば。

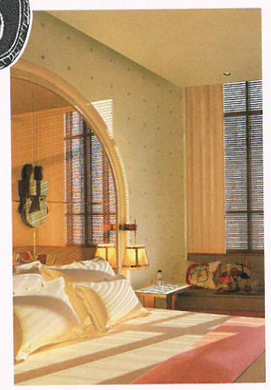
28

9 Hôtel Confidentiel

ヌフ・オテル・コンフィデンシエル

32〜34 10月22日オープン予定。パリに4か所展開する〈ヌフ・オテル・コレクション〉の中でも最上ランクに位置づけられるホテル。人気のパティスリー『ヤン・クーヴルール』も館内に入る。スパではパーソナライズで有名なフランス発のナチュラルなスキンケアブランド〈コダージュ〉を使用。百貨店『BHV』の裏通りを歩いてすぐ。

58 rue du Roi de Sicile 75004 ☎01-58-36-07-50 1泊€375〜

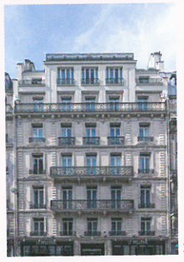

32

7 Hôtel Le Belleval

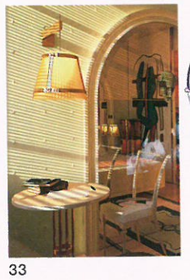
オテル・ル・ベルヴァル

28 1階のレストランではビオ野菜中心のヘルシーフードを提供。29 典型的なオスマン建築の建物の中。30 バーにフローラルな壁紙を使うなど、随所に自然派なイメージ。31 20㎡のスーペリアルーム。ブランコがベッドサイド・テーブル代わりになっていて面白い。ルームキーはQRコードで宿泊者のスマートフォン内に。チェックイン・アウトもスマートフォンで済ませられる。

16 rue de la Pépinière 75008 ☎01-85-73-36-45 1泊€243〜 プランタン百貨店まで徒歩圏内。


29

34


33

31

30

なのが嬉しい。

『オテル・デュ・ロンポワン・デ・シャンゼリゼ』は、インテリアデザイン界の売れっ子、ミラノの〈ディモーレ・スタジオ〉が内装を手がけた。スモーキーなパステル色や真鍮を使い、要所にプリント生地を合わせるなど、彼らの雰囲気がよく出ている。レトロな照明や家具もすべて特注品。7階と8階にはバルコニー付きの客室もあり、パリの街並みを見渡せるのは実は珍しいこと。

シャネル本店のあるカンボン通りに看板もなくひっそりと構えるホテル**『メゾン・アルマンス』**は、徹底して隠れ家的感覚を大事にしている。インターフォンで名前を告げて奥の中庭へ。バトラーが出迎え、6階にエレベーターがってレセプション。まるで誰かのアパルトマンを訪ねたような印象だ。宿泊料にプラス15ユーロで空港への迎えが可能というサービスも気が利いている。

サン＝ラザール駅近くの**『オテル・ル・ベルヴァル』**はオスマン建築を改装し、エコロジーを感じるインテリアになった。1階のレストラン&バーは表通りに面しているから誰でも気軽に入れるし、奥には壁に植物のペイントが施されたパティオも。そしてホテル激戦区のマレには10月にフィリップ・スタルク内装デザインの**『ヌフ・オテル・コンフィデンシエル』**がお目見えする。スタルクらしい、アールデコとエキゾチシズムがミックスしたようなインテリアが楽しみだ。

21

20

13

12

5 Hôtel du Rond-Point des Champs-Elysées

オテル・デュ・ロンポワン・デ・シャンゼリゼ

20 全36室。7〜8階のスイートは小さなバルコニー付き。エッフェル塔が正面に見える部屋もあり。21 浴室に大きな窓があるのは珍しい。視界が開けているからこそ。22, 23 エメラルド色やパウダーローズにマホガニーを合わせた少しレトロな雰囲気のインテリア。独特な照明や家具デザインにも注目。地下1階には13mのプールとスパも。

10 rue de Ponthieu 75008 ☎01-53-89-14-14 1泊€190〜

22

23

14

15

3 Fauchon L'Hôtel Paris

フォション・ロテル・パリ

12 ガラス天井で明るい『グランカフェ・フォション』では8時から朝食がいただける。13 ピンクを基調としたスーペリアルーム。各部屋のミニバーは〈フォション〉のミニケーキや惣菜で構成され、宿泊客が好みによってあらかじめ選ぶことができる。14 日曜11〜16時のブランチも嬉しい。15 パリ市内での通話とWi-Fiが無料のモバイルフォンが全宿泊客に貸し出されるサービスは非常に便利。

11 Place de la Madeleine 75008 ☎800-2888-8882 1泊€537〜

17

18

19

4 Hôtel Royal Madeleine

オテル・ロワイヤル・マドレーヌ

16 小さなプールは22時まで、フィットネスルームは24時間利用可。17 18〜23㎡のスーペリアルーム。暖色系のコジーな雰囲気。18 最上階の客室はバルコニー付きで素晴らしい眺め。19 ガラス天井にオレンジの木を据えたサンルーム風のレストランでは、ポキボウルやバーガー、鯛のタイ風グリルなどカフェ飯風な食事が手頃にいただける。パッサージュの側からも入店できる。

29 rue de l'Arcade 75008 ☎01-84-25-70-00 1泊€165〜 1976年の創業。

16

マドレーヌ広場、シャンゼリゼ周辺に注目。

昨年までではマレ地区やモンマルトルのプチホテルのオープンが多かったけれど、今年は右岸でもシャンゼリゼ通りやカンボン通りなど、高級ストリートでの話題が目立つ。なかでもマドレーヌ広場に大注目。あのフォションが世界で初めて手がけたホテル**『フォション・ロテル・パリ』**が9月1日オープンした。場所は19世紀末から現在までずっと、高級食料品店として出店している場所から広場を挟んで斜め右手。ここではパーソナライゼーションが一つの特徴になっており、客室でのプライベートディナーや、セーヌ川プライベートクルーズなど、様々なサービスがオプションで用意されている。マドレーヌ寺院を目の前にテラス席のあるレストラン『グランカフェ・フォション』は昼夜ノンストップ。宿泊しなくてもぜひ利用したい。このマドレーヌ広場から徒歩3分の**『オテル・ロワイヤル・マドレーヌ』**も7月末にオープンしたばかり。女性好みのファブリック使いがうまい客室インテリア、ガラス天井のある明るいレストラン&バー、プール付きスパに24時間フィットネスと、こぢんまりとしていながら使い勝手の良さそうなホテルで、室料もお手頃だ。客室や館内のあちこちに絵画や彫刻が飾られているのが特徴で、アートコレクターの家に招かれたような気分に。